

# 目 次

序 文	中野弘三・田中智之	iii
-----	-----------	-----

## I 統語変化

### (A) DP/NP 領域

1. 英語史における名詞後位修飾要素の消失について	茨木正志郎	2
2. 軽動詞構文と同族目的語構文の共時的・通時的関連性について	久米 祐介	16
3. 最上級の意味を表す as ... as any の史的発達について	宋 蔚	29
4. 英語史における形容詞の名詞用法の発達 — 属格・所有格名詞を中心に —	山村 崇斗	38
5. 形容詞と複合不定代名詞の語順に関する通時的考察	吉田江依子	51

### (B) vP/VP 領域

6. 動詞・不変化詞語順の発達について	玉田 貴裕	67
7. 受益者受動文の発達に関する通時的研究	本多 尚子	79
8. 前置詞残留の史的発達と循環的線形化	松元 洋介	94

**(C) CP/TP 領域**

9. That 虚辞の消失  
 ..... 近藤 亮一 108
10. CP カートグラフィーによる that 痕跡効果の通時的考察  
 ..... 縄田 裕幸 120
11. There + be 構文と提示の there 構文における There の歴史的発達  
 ..... 榎田 裕加 136

**(D) 補文構造**

12. With 独立構文の通時的発達に関する一考察  
 ..... 杉浦 克哉 148
13. 不定詞標識 to の(脱)文法化について  
 ..... 田中 智之 159
14. 動詞 try の補部として現れる原形不定詞節について  
 ..... 中川 聡 175
15. tough 構文の構造と派生の歴史的変遷について  
 ..... 中川 直志 191
16. 小節の統語構造の歴史的変化に関する一考察  
 —want タイプ動詞の選択する小節補部に注目して—  
 ..... 横越 梓 207

**II 意味変化, 文法化, その他**

17. 言語使用と言語変化：構文文法理論の観点から  
 ..... 石崎 保明 222
18. (I) hope の文法化とその動機づけ  
 ..... 大村 光弘 238
19. 非言語伝達動詞 nod の意味変化とその補部構造  
 ..... 大室 剛志 253
20. Just の多義性の由来を探る  
 ..... 中野 弘三 271

21. 話者の言語行動から見た主観化 .....	前田 満	287
22. 通時的研究の現状と課題 .....	米倉 綽	303
執筆者一覧.....		319